

議案外の報告

おうえん じむきょく きたぐちゆきお ことし がつ ちりょう きたのびょういん
 応援センター事務局の北口幸男さんが今年1月にコロナ治療のため北野病院に2
 しゅうかんにゆういん にゆういん じ たいおう なつとく てん しょうだいいん しえん
 週間入院しました。入院時の対応に納得のいかない点があったため、障大連の支援
 う びょういんがわ はな あ ば い か はな あ ほうこくないよう つた
 を受け病院側と話し合いの場をもちました。以下、話し合いの報告内容をお伝えしま
 しょうだいいん ほうこくぶん いんよう
 す。なお、このまとめは障大連の報告文を引用させていただきました。

ねん がつ にち きたのびょういん はな あ けつかほうこく
 2023年4月27日 北野病院との話し合いについての結果報告

きたぐちゆきお てん うった たい びょういんがわ せつめい きさい
 北口幸男さんからの6点の訴えとそれに対しての病院側の説明について記載。
 やじるし びょういんがわ せつめい
 矢印(⇒)からが病院側の説明。
 ねん がつようか しゅうかん びょうとう にゆういん
 (2023年1月8日～2週間、コロナ病棟へ入院)

① トーキングエイドを取り上げられた問題

しょうとうだい お にゆういんちゅうつか
 床頭台にトーキングエイドを置かれ、入院中使うことができなかった。
 ぎゃくりゅうせいしょくどうえん つた つた
 逆流性食道炎についてなど伝えたいことを伝えられなかった。

⇒ きたぐち しゅだん しゅ おこな かんが
 北口さんのコミュニケーション手段を、主としてジェスチャーで行うと考
 えていた。
 しんたい いちぶ しゅだん にんしき
 身体の一部としてのコミュニケーション手段であるという認識がなかった。
 びょうとう しぶつせいげん なか い
 コロナ病棟のため、私物制限がありトーキングエイドもその中に入れてし
 まった。
 いっぱんびょうとう しょうれい ひつようせい にんしき きょうゆう
 一般病棟ではトーキングエイドの使用例もあったが、必要性の認識の共有
 ができていなかった。

② ナースコールの設置がなかった問題

てもと お うえ
 手許にナースコールが置いていなかった上に、つながっていなかった。

⇒ がつようか お きろく
 1月8日にナースコールが押されたという記録あり。つながっていないとい

うことはなかった。

③食事の問題

食事時間は15分しかなく、本人に確認もせず嚥下食、水分にトロミがつけられた。
(普段は常食、水分もトロミなし) その説明もなかった。

⇒ 1月8日の時点で誤嚥性肺炎との診断があったため、その食事形態となった。
説明はしたが、入院後3日間は発熱もあり北口さんも記憶にない。落ち着いたら後に、再度説明をすればよかったが、患者が次々とくるため現状難しい。

④水分大量摂取の問題

水分は食事の時のみ。6日目の採血で脱水と言われ、大量に水分をとらされた。
それが肺に入った事が原因で、高熱がでた。

⇒ 水分摂取の促しはしたが、そこまで大量ではなかった。高熱もそれが原因ではないと考えている。

⑤体位変換の問題

昼間は放置され、夜間のみ行われて昼夜逆転になってしまった。リハビリの時にしか身体を起こしてくれず、車イスの練習もしていない。(これはコロナ病棟から一般病棟にうつって日が浅かったせいかもしれない)

⇒ 昼夜とも2～3時間おきに体位変換をしていた。ただ体位変換の実施についての細かな記録はない。

⑥点滴交換の時間の問題

夜間も交換されて、昼夜逆転になってしまった。

⇒ 抗生剤を点滴していたので、夜間交換していた。

【話し合いを通して】

トーキングエイドの重要性の認識不足や、それによってコミュニケーションが
できなくなり意思疎通が不十分であったこと、北口さんへの説明不足については認
められたが、ナースコールや体位変換の実施については、北口さんと病院側の主張
が合わず、また確認ができなかった。

特にナースコールの問題については、記録があったとのことだが自分は押し
ない。看護師が試みに押ししたのかもしれない。また、熱が高く意識もうろうとして
いる患者がナースコールを押せると思うのか？と疑問を持っている。

北口さんが一番問題としていることは、本人の意思を無視して行われたことで
あり、今後言語障害がある人に対して二度と同じことがおこらないようにと
病院側に伝えた。

最初の段階での把握、病状回復後の丁寧なやりとりなど。

おうえん	そうかい	じょうきほうこく	き	いけんこうかん
応援センター	総会	における	上記報告	を聞いての意見交換

牧口：トーキングエイドを取り上げたり、今までの状況を聞いてもらえなかった
り問題が多いな。いろんな注意事項の伝達とかすべきだった。

笠原：（意思伝達に障害のある人の場合）相談員や介護者のサポートがあっ
てしかるべきだが…。

コロナ状況であったが…。コロナでなくとも起こり得る問題。

牧口：病院との話し合いには誰がついてくれたの？

北口：障大連の古田さんと砂川さんが一緒に同席してくれた。

牧口：記憶がないほどの高熱だったそうやけど、何度くらいやったの？

北口：救急車の中で39.6℃あった。

中江：トーキングエイド = 北口さんの口だという認識がされていない。

牧口：されがちな事だが、患者の意志より生命優先だが、こんな時どうしたらいい
のかな…。

症状が落ち着いた後も、トーキングエイドを取り上げられた。

KSKすたこらさん

どうよう ふせ じ こ ぼうえい かんが
同様のことを防ぐには、自己防衛で考えないといけない。

こんご かも か い なか
今後もありえることとして、紙に書いて入れておくとか。それをかばんの中
い み しめ
に入れておいて、とにかくそれを見てもらうようにジェスチャーで示すとか
こじん たいおう かんが こと ひつよう じぶん かんが
個人としてもとりあえずの対応を考えておく事が必要かも…。自分で考え
ないといけない。

しょうがい とくせい おう ていねい たいおう げんじょう
いろんな障害の特性に応じた丁寧な対応ができないのが現状みただし。

まきぐち むかい なに くふう
牧口：向井さんは何か工夫ありますか？

むかい なんねん まえ にゆういん じぶん し びょういん
向井：何年か前に入院はあったが、自分のことを知ってもらってる病院なので
もんだい じょうきょう じょうねつ で
問題なかった。コロナ状況でもなかったし、高熱も出なかったの。

まきぐち こえ だ ち
牧口：声が出せたら、わめき散らすことができるかな…。

きたぐち
北口さんは、それができなかった。

よ な みね しゃかい りかい もと こじん
與那嶺：社会の理解も求めつつ、個人でできることをするしかないですね。

まきぐち と み かぎ びょういんがわ なに き
牧口：このやり取りを見ている限り病院側は何かに気がついているわけでもない。

なかえ ちりょう いのち たす じょうたい びょういん ぎもん かん
中江：コロナの治療で命を助けている状態なので、病院は疑問すら感じていなか
ったのではないだろうか。

まきぐち と き し かた はんせいざいりょう きょうゆう
牧口：その時は仕方なかったかもしれないが、反省材料として共有してほしい。

かさハラ じょうきょう にゆういんちゆう な ゆきお ゆうじん そうとう
笠原：コロナ状況で入院中に亡くなった幸男さんの友人も相当しんどかったと
おも ひと ぶん たたか
思います。その人の分も戦ってほしい。

きたぐち
北口：・・・

まきぐち きたぐち ぐち か
牧口：トーキングエイドに『北口の口』って書いてくとか。

ふくしま きたぐち こじん ごと ほうこくぶんしょう そうかい
福島：北口さん個人だけの事ではないので、この報告文章は総会のまとめのすたこ
らさんに掲載します。この場でのみなさんの意見も掲載させていただきます。

まきぐち ひと つた こと つた おお こりつかん
牧口：人に伝えたい事が伝わらないことほど、そんな大きな孤立感はない。めげて
しまう。

いとう わたし せんしゅう げつようび かいだん たつきゅう つた
伊東：私は先週の月曜日に階段でこけて脱臼したんやけど、なかなか伝わらな
った。

きたぐち きゆうきゆうしゃ きたのびょういん じぶん ひと つた
北口：救急車から北野病院に自分がどういふ人か伝わってるはず。

なかえ にんしき も びょういんがわ いそが しかた
中江：認識持ってなかったら、病院側も忙しいので仕方がない。

まきぐち じ こしちゅう いのち まも きき かん も じぶん
牧口：自己主張しかない。命を守るために危機感を持って自分でできることをや
るしかない。